

令和4年度 第2回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：令和5年3月22日（水） 午後1時30分

場所：サンライフ練馬 研修室

（審議事項）

- 1 令和5年度事業計画（案）
 - （1）収支予算
 - （2）展覧会事業
 - （3）教育普及事業

（報告事項）

- 2 令和4年度事業報告（中間報告）
 - （1）展覧会事業
 - （2）美術作品の収集事業（再掲）
 - （3）広報活動と反響
 - （4）新型コロナウイルス感染症対策

- 3 その他

令和4年度

第2回 練馬区立美術館運営協議会資料

令和5年3月

令和4年度第2回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和5年度 事業計画（案）	
(1) 収支予算	5
(2) 展覧会事業	6
① 「生誕120年 大沢昌助」展	7
② 「植物」展（仮称）	8
③ 「宇川直宏」展 Final media therapist @Dommune（仮称）	9
④ 「生誕120年 古賀忠雄」展 彫塑の楽しみ（仮称）	10
⑤ 「生誕150年 池上秀畝」展（仮称）	11
(3) 教育普及事業	12
2 令和4年度事業報告（中間報告）	
(1) 展覧会事業	14
(2) 美術作品の収集事業（再掲）	16
(3) 広報活動と反響	17
(4) 新型コロナウイルス感染症対策	23

第19期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハン コウジ 高橋 幸次	国際ファッション専門職大学教授 元日本大学芸術学部 教授
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学名誉教授
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	日本女子大学名誉教授
練馬区議会 議員	シバタ さちこ 柴田 さちこ	区議会議員
	やない カツコ やない 克子	区議会議員
	コマツ あゆみ 小松 あゆみ	区議会議員
	トミタ けんじ 富田 けんじ	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	ハタ チエヨ 畑 智江子	公募区民
	インハラ ヒデオ 石原 秀男	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	ミヤザキ ハルミ 宮崎 晴美	区立小学校校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和5年度 事業計画(案)

(1) 収支予算

① 指定管理者収支予算

(単位：千円)

経費種別	支出			収入			
	施設管理費	事業費	人件費	指定管理業務費	利用料金・物販等	その他	
人件費	0	0	89,146	89,146	0	0	
美術館維持経費	88,080	0	0	86,766	1,314	0	
展覧会事業費	0	95,020	0	56,919	36,901	1,200	
教育普及事業費	0	4,731	0	4,519	212	0	
練馬区立美術館維持運営費 計	88,080	99,751	89,146	237,350	38,427	1,200	

② 区直接執行予算(美術館維持運営費・美術館再整備事業経費)

項目	支出額
美術館運営協議会委員報酬	447
資料収集委員会委員等謝礼	1,095
再整備基本設計等委託料	146,420
消耗品費および印刷費	354
区執行額計	148,316

【参考】区直接執行予算(美術の森緑地維持管理費)

項目	支出額
光熱水費	171
修繕料	440
消耗品費	30
樹木せん定料	981
維持管理等委託料	2,960
維持補修費	352
区執行額計	4,934

(2) 展覧会事業

令和5年度 展覧会事業日程(案)

3階展示室			2階展示室					
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当			
4月29日 6月18日 <44日間>	【有料】 「生誕120年 大沢昌助」展				加藤			
7月2日 8月25日 <47日間>	【有料】 「植物」展(仮称)				木下			
9月10日 11月5日 <49日間>	【有料】 「宇川直宏」展(仮称)				眞子			
11月17日 11月26日 <9日間>	【無料】 第69回練馬区美術家協会展		11月17日 2月25日 <82日間>	【無料】 「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)	眞子			
11月28日 12月28日 <27日間>	(一般貸出)							
1月4日 1月11日 <7日間>	(一般貸出)							
1月13日 1月17日 <4日間>	練馬区中学校生徒作品展							
1月20日 1月25日 <5日間>	練馬区小学校連合図工展							
1月27日 1月28日 <2日間>	練馬区小中学校連合書きぞめ展							
2月3日 2月12日 <9日間>	【無料】 第55回練馬区民美術展							
2月14日 2月25日 <11日間>	(一般貸出)							
3月16日 4月21日 <32日間>	【有料】 「生誕150年 池上秀畝」展(仮称)							加藤

「生誕 120 年 大沢昌助」展 開催要項

- 1 開催趣旨

大沢昌助（1903～1997）は戦前、戦後の社会背景を見据えつつ、ブレることのない独自のスタイルを貫いた昭和を象徴する美術家です。モダン、シンプル、自由そして軽やか。そんな言葉が大沢の作品には息づいています。

当館では最初期から晩年に至る、100 点以上もの作品を所蔵しており、1991 年の回顧展を皮切りに 1996 年の追悼展、父で建築家の大沢三之助との親子展など折にふれその芸術を紹介してきました。本展では生誕 120 年という記念の年にあたって、これまで紹介してきた作品に加え、作画の原点であるスケッチ類や三之助作品を含む新収蔵品、調査の中で新たに発見された作品、ことに 1980～90 年代にかけての晩年の抽象画を含めた約 120 点で大沢芸術の豊かさを多面的に紹介する展覧会です。
- 2 会 期 令和 5 年 4 月 29 日（土・祝）～ 6 月 18 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 油彩画、版画、スケッチブックなど 約 120 点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 講演会、スライドトーク、ワークショップ、鑑賞プログラムを開催
- 8 観覧者見込 11,440人(260人／日)
- 9 担 当 加藤陽介

「植物」展（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

本展覧会では、収蔵作品を中心に植物をモチーフにした作品・資料をご紹介します。食べ物や道具の素材、鑑賞や畏怖の対象として、植物はわたしたちの日々の生活とわかちがたく結びつき、美術においても時代を超えて重要なモチーフであり続けてきました。当館の収蔵作品を特徴づける日本の近現代の作品のなかから、日本画や洋画、版画や彫刻などさまざまなジャンルの作品を展示し、植物の描かれ方の多様さを紹介しながら、植物がいかに美術作家を触発してきたかを探ります。

また、科学的な知見に基づく、牧野富太郎らによって描かれた植物のイメージもご紹介します。牧野富太郎（1862-1957）は、晩年の30年間を大泉で暮らした練馬区ゆかりの植物学者です。日本の植物学の黎明期に大きな足跡を残した牧野は、科学者として、またひとりの人間として植物を愛した人物でした。本展覧会では、練馬区立牧野記念庭園等の協力を得て、牧野が制作した植物画や植物標本を展示します。

美術のジャンルや専門を超えて作り手たちは植物を観察しその特徴を描き出そうとするなかで、普段わたしたちが気づかずに通り過ぎてしまうような植物の美しさや不気味さに迫り、その人独自の植物を作品のなかで創造していくのかもしれない。本展を通じて、美術館の中でこそ見られる植物の魅力に出会っていただければ幸いです。
- 2 会 期 令和5年7月2日(日)～8月25日(金)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 作家：佐田勝、須田悦弘、竹原嘲風、牧野富太郎、本橋雅美、森白甫ほか
作品：日本画、油彩画、版画、彫刻、スケッチブックほか 約80点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 500円
- 7 イベント ギャラリートーク、ワークショップなどを開催
- 8 観覧者見込 9,400人(200人／日)
- 9 担 当 学芸員 木下紗耶子

「宇川直宏」展 Final media therapist @Dommune (仮称) 開催要項

- 1 開催趣旨

宇川直宏（1968 年生まれ）は、1990 年代より映像作品、グラフィックデザイン、VJ（ビデオジョッキー）、文筆、キュレーションなど多岐にわたる活動を展開するアーティストです。2010 年には世界に先駆けてライブストリーミングチャンネル「DOMMUNE（ドミューン）」を立ち上げ、毎夜、多種多様なトーク、DJ のプレイ、ライブ等を配信し続け、国内外の先端的なアートシーンに大きな影響を与えています。

本展では、13 年間の DOMMUNE の膨大なアーカイブを紹介するとともに、それらの映像を素材として、絵画や立体作品など他のメディアに変換・創造していきます。変換・創造の過程で介在するのは、様々な年齢・バックボーンを持つ人々や人工知能。アーカイブの様々な可能性を探るとともに、近年広く普及し始めた人工知能による画像生成にも着目し、描くとは何か、作家性や作品の価値とは何かなど、美術を新たに捉え直すプロジェクトとなります。また会期中には美術館を舞台としてストリーミング配信を行い、さらなる情報の蓄積を目にすることもできます。

毎日大量の人が行き交うプラットフォームであり情報の泉源である「DOMMUNE（ドミューン）」を、様々に変換し時空を錯綜しながら眺める試みは、現在社会を取り巻く様々な問いを更に深める機会ともなるでしょう。
- 2 会 期 令和 5 年 9 月 10 日(日)～11 月 5 日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 絵画、映像、インスタレーションなど 約 100 点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000 円
- 7 イベント 講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどを開催
託児サービスを実施予定
- 8 観覧者見込 19,600 人(400 人／日)
- 9 担 当 学芸員 眞子みほ

「生誕 120 年 古賀忠雄」展 彫塑の楽しみ（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区ゆかりの彫刻家・古賀忠雄（1903-1979）を紹介する展覧会です。

佐賀県佐賀市に生まれた古賀は、高等科を卒業後、佐賀県立有田工業高校図案絵画科に入学し、教師であった日本画家・腹巻丹丘に才能を認められます。1926年には東京美術学校彫刻科塑像部本科に入学。在学中の1929年第10回帝展に《仏心》を出品し初入選しました。その後帝展で活躍し、戦後は日展の評議員、理事を務めながら、日本彫塑会委員長、日本陶彫会会長などを歴任しました。古賀は区内に長くアトリエを構えており、当館では1988年に「彫刻家古賀忠雄の知られざる世界」を開催しています。

古賀が表現手段とした彫塑は、作家が直接手をかけた原型が保管・展示されることは多くなく、他の人の手による鋳造過程を経て作品が発表の舞台に出ていきます。さらに、同じ型から複数の作品を生み出すことのできる、複製芸術でもあります。また、屋外に設置され公共性の高い存在となることも多く、制作の背景のみならず設置前後の様々な過程は実に興味深いものです。

本展では当館及び練馬区所蔵の12作品と古賀のアトリエに遺された石膏原型に加え、区内または他地域に設置された古賀作品をパネルで提示し、それぞれの物語を紡ぎます。また制作工程の紹介や、複製された小品を手にとって比べてみるコーナーを設けるなど、彫塑作品の面白さを様々な角度からお楽しみいただきます。
- 2 会 期 令和5年11月17日（金）～令和6年2月25日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 ブロンズ、石膏などの彫塑作品・原型 約30点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、ワークショップ、鑑賞プログラムなどを開催
- 8 観覧者見込 16,400人(200人/日)
- 9 担 当 眞子みほ

「生誕 150 年 池上秀畝」展（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

池上秀畝（1874-1944）は、長野県上伊那郡高遠町（現在の伊那市）に生まれ、1889（明治 22）年、本格的に絵を学ぶため上京。当時まだ無名だった荒木寛畝の最初の門人・内弟子となり、1916 年から 3 年連続で文展特選を受賞、帝展で無鑑査、審査員を務めるなど官展内の旧派を代表する画家として活躍しました。

同じく長野県出身で、同じ年の菱田春草（1874-1911）らが牽引した「新派」の日本画に比べ、秀畝らの「旧派」と呼ばれる作品は近年の展覧会等で取り上げられることは少なく、その知名度は限られたものに過ぎませんでした。しかし、伝統に基づく旧派の画家たちは、会場芸術として当時の展覧会で評価されることのみならず、屏風や建具に描かれた作品は屋敷や御殿を飾る装飾美術としても認められていました。特に秀畝は寛畝のもとで身につけた徹底した写生に基づく描写や、新派の画家たちが取り組んだ空気感の表現なども取り入れ、伝統に固執しない新しい表現も見せています。

2024（令和 6）年は秀畝の生誕 150 年にあたり、彼の人生と代表作をたどり、画歴の検証を行うと共に、新たなる視点で「旧派」と呼ばれた画家にスポットを当てる展覧会です。
- 2 会 期 令和 6 年 3 月 16 日（土）～ 4 月 21 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 日本画、下図類など 約 100 点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000 円
- 7 イベント 講演会、スライドトーク、ワークショップなどを実施
- 8 観覧者見込 9,600 人（300 人／日）
- 9 担 当 加藤陽介

(3)教育普及事業

令和5年度 教育普及事業計画(案)

令和5年2月12日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連 実技講座	未定	1	内容により 設定	未定
2	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)関連 実技講座	未定	1	内容により 設定	未定

② ギャラリートーク・スライドトーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「生誕120年 大沢昌助」展関連 スライドトーク	5月27日(土)	1	抽選	40名
2	「植物」展(仮称)関連 ギャラリートーク又はスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	—
3	「宇川直宏」展(仮称)関連 ギャラリートーク又はスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	—
4	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連 ギャラリートーク又はスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	—
5	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)関連 ギャラリートーク又はスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	—

③ 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「生誕120年 大沢昌助」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	6月3日(土)	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 10名
3	「生誕120年 大沢昌助」展関連 トコトコ美術館vol.45 テーマ:いろ	5月13日(土)、14日(日)	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
4	「生誕120年 大沢昌助」展関連 拡大!美術館vol.5 テーマ:いろ	6月4日(日)	2	小学生	各回 8名
5	「植物」展(仮称)関連 トコトコ美術館vol.46 テーマ:しょくぶつ	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
6	「植物」展(仮称)関連 拡大!美術館vol.6 テーマ:しょくぶつ	未定	2	小学生	各回 8名
7	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	未定	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 10名
8	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連 トコトコ美術館vol.47 テーマ:いろ	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
9	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連 拡大!美術館vol.7 テーマ:いろ	未定	2	小学生	各回 8名
10	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	未定	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 10名
11	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)関連 トコトコ美術館vol.48 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組

④ 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「生誕120年 大沢昌助」展関連講演会 講師:土方明司(川崎市岡本太郎美術館館長)	5月20日(土)	1	中学生以上	70名
2	「植物」展(仮称)関連講演会	未定	1	中学生以上	30～40名
3	「宇川直宏」展(仮称)関連講演会	未定	1	中学生以上	30～40名
4	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)関連講演会	未定	1	中学生以上	30～40名
5	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)関連講演会	未定	1	中学生以上	30～40名

⑤ ミュージウムコンサート・ライブパフォーマンス等

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	展覧会関連 ミュージウムコンサート・ライブパフォーマンス等	未定	1	中学生以上	20～30名

Ⅱ) ネリビラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	ネリビラボ	未定	2	小中学生	各15名

Ⅲ) アートでねりまち(美術館の視点で練馬のまちを楽しむ事業)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	アートでねりまち	5月・7月・9月・11月・1月	5	内容により設定	未定

Ⅳ) 施設等紹介事業(施設や所蔵品から美術館を知るプログラム)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ	未定	4	5歳～ 小学2年生	各回 10名
2	所蔵品カードであそぼう!	未定	2	小学生～ 大人	各回 16名
3	おでかけ美術館	未定	1	小学4～6 年生	10名

学校関連事業

Ⅰ) スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布する。

① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする。
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする。

Ⅱ) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

令和5年度は5回開催する。

	展覧会名
1	「生誕120年大沢昌助」展
2	「植物」展(仮称)
3	「宇川直宏」展(仮称)
4	「生誕120年 古賀忠雄」展(仮称)
5	「生誕150年 池上秀敏」展(仮称)

2 令和4年度 事業報告(中間)

(1) 展覧会事業

令和4年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月26日(日) ～8月14日(日)	「生誕100年 朝倉摂」展	43	16,555 (385)	10,164 (236)	61.4%
9月4日(日) ～11月3日(木)	「日本の中のマネ」展 —出会い、120年のイメージ—	52	22,880 (440)	18,434 (355)	80.6%
11月18日(金) ～2月12日(日)	「平子雄一×練馬区立美術館コレクション」展 —inheritance, metamorphosis, rebirth [遺産、 変形、再生]—	70	16,450 (235)	5,852 (84)	35.6%
2月26日(日) ～4月16日(日)	「本と絵画の800年」展 —吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション—	43	15,480 (360)	15,480 (360) (見込)	100.0%
	合 計	208	71,365 (343)	49,930 (240) (見込)	70.0%
	前年度	132	44,050 (334)	52,045 (394)	前年度比 95.9%

(イ) コレクション展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月10日(日) ～6月12日(日)	「時代を映す絵画たち」展 —コレクションにみる戦後美術の歩み—	55	11,000 (200)	3,232 (59)	29.4%
	合 計	55	11,000 (200)	3,232 (59)	29.4%
	前年度	73	8,400 (115)	8,606 (118)	前年度比 37.6%

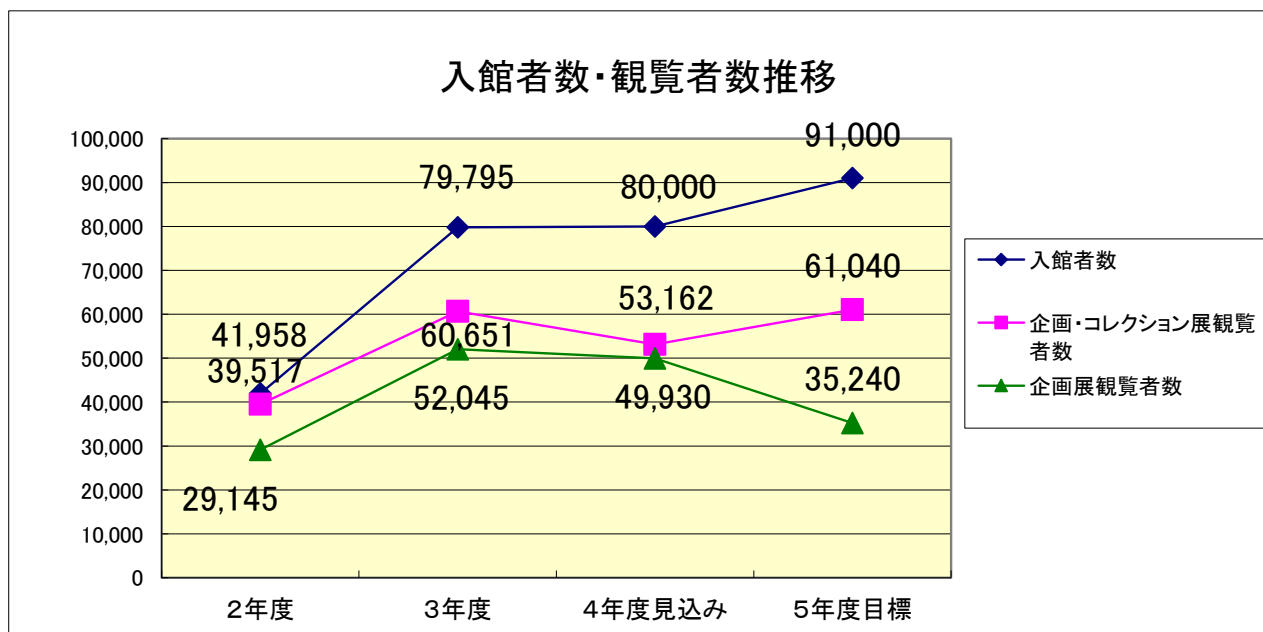
企画展・コレクション展観覧者数比較	3年度	4年度	前年度比
	60,651	53,162 (見込)	87.7%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
11月18日(金) ～11月27日(日)	第68回練馬区美術家協会展	9	1,606 (178)	
1月14日(土) ～1月18日(水)	練馬区中学校生徒作品展	4	3,688 (922)	
1月21日(土) ～1月26日(木)	練馬区小学校連合図工展	5	6,599 (1,320)	
1月28日(土) ～1月29日(日)	練馬区小中学校連合書きぞめ展	2	10,387 (5,194)	
2月4日(土) ～2月12日(日)	第53回練馬区民美術展	8	2,608 (326)	
合 計		28	24,888 (889)	前年度比 789.1%
前年度		17	3,154 (186)	

(エ) 入館者数

入館者数比較	3年度	4年度	前年度比
	79,795	80,000 (見込)	100.3%



(3) 美術作品の収集事業

① 令和3年度 美術作品の収蔵状況

(令和4年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28							317	28	573	601	
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16				3		28		50	50
2		1		12		1						17		6		37	37
3				62		1						3		30		96	96
合計	31	301	190	1515	75	912	1	48	0	1	1	67	1	2640	299	5484	5783

令和4年3月31日現在
寄託作品 1,859 点

購入・寄贈・寄託計 7,642点

(3)令和4年度 広報活動と反響

時代を映す絵画たち

令和4年4月10日～6月12日

<p><新聞></p>	
<p>📄記事</p>	<p>📄一覧</p>
美じょん新報 3月20日	朝日新聞 4月5日
東洋経済日報 4月1日	毎日新聞 首都圏版「遊ナビ」 4月8日
陸奥新報 4月24日	毎日新聞 美術館ガイド 4月1日
毎日新聞 4月18日	
赤旗新聞 5月27日	
<p><雑誌></p>	
月刊サライ 4月7日	
懸賞ナビ 3月22日	
<p><会員誌、フリーペーパー等></p>	
月刊Kacce 4月1日	
地域情報誌「かるがも便り」4月1日	
<p><WEB></p>	
G-Call	インターネットミュージアム
FASHION PRESS	大人のカルチャーガイド
アートアジェンダ	じゃらん他
スマート	Tokyo Live&Exhibits
個展なび	ぴあアプリ
Tokyo Art Beat	ウェブ版美術手帖
OBIKAKE	ぴあポイントサイト
MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう	あるくあるける MAP&NEWS
<p><その他></p>	
ねりま区報 3月21日号	
練馬区多文化フェイスブック 3月22日	
ねりまほっとライン 3月・4月	
練馬区役所庁舎内等モニター広告 4月～6月	
練馬区公式ツイッター 4月14日	
ねりま区ホームページ	
JCOM つながるニュース 4月26日	
貫井図書館だより	

<p><新聞></p> <p>📄 記事</p> <p>東京新聞 4月20日・6月10日・6月25日 7月4日・13日・20日・27日</p> <p>日本経済新聞 5月14日</p> <p>東洋経済日報 5月27日</p> <p>陸奥新報 6月19日</p> <p>新美術新聞 6月15日</p> <p>毎日新聞 6月24日</p> <p>朝日新聞 6月7日・6月21日</p> <p>読売新聞 7月4日</p>		<p>📄 一覧</p> <p>毎日新聞 6月17日・24日 7月15日・22日・29日</p> <p>朝日新聞 6月21日</p> <p>東京新聞 6月29日</p>
<p><雑誌></p> <p>一枚の繪 3月21日</p> <p>芸術新潮 5月25日</p> <p>東京かわら版 5月28日</p> <p>月刊絵手紙 6月25日</p> <p>美じょん新報 6月20日</p> <p>美術の窓 6月20日</p> <p>月刊美術 6月20日</p>		<p>散歩の達人 6月21日</p> <p>芸術新潮 6月24日</p> <p>懸賞なび 7月1日</p> <p>和樂 7月1日</p> <p>芸術新潮 7月25日</p> <p>月刊MOE 7月1日</p> <p>月刊ギャラリー 7月1日</p>
<p><会員誌、フリーペーパー等></p> <p>月間Kacce 6月1日</p> <p>月刊モルゲン 6月2日</p> <p>カンフェティ 6月7日</p> <p>asacoco 6月17日</p> <p>東京かわら版 6月28日</p>		<p>定年時代 7月5日</p> <p>ZENBI 7月15日</p> <p>季刊誌「はいから」 7月1日</p> <p>ぱる新宿ニュース7月号</p> <p>こどもの図書館 8月10日</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>FASHION PRESS</p> <p>G-Call</p> <p>Tokyo Live&Exhibits</p> <p>チケットぴあアプリ・ぴあポイントサイト</p> <p>スフマート</p> <p>月刊ezpress</p> <p>個展なび</p>		<p>インターネットミュージアム</p> <p>ウェブ版「美術手帖」</p> <p>青い日記帳</p> <p>あるくあるける Map&News</p> <p>マリ・クレール</p> <p>ギャラリーガイドネット</p> <p>アート情報サイト「hibiA」</p> <p>kodomoe ウェブサイト</p>

<その他>

FM 調布 ゆうがた5 5月10日
NHK 日曜美術館アートシーン 5月29日
TOKYO MX わたしの芸術劇場 7月29日
ねりま区報 6月11日号
練馬区多文化フェイスブック 6月21日
ねりまほっとライン 6月
練馬区役所庁舎内等モニター広告 6月～8月
練馬区公式ツイッター 8月4日
ねりま区ホームページ
貫井図書館だより
貫井図書館・美術ブックリスト


<広告>

京王電鉄駅貼り広告（新宿駅、明大前駅）
読売新聞
Instagram、Facebook、Twitter 広告

日本の中のマネ ー出会い、120年のイメージ

令和4年9月4日～11月3日

<新聞>

 記事

毎日新聞 8月19日、9月28日
朝日新聞夕刊 8月30日
東京新聞 8月31日
新美術新聞 9月5日
産経新聞 9月9日
朝日新聞 9月20日、11月2日
公明新聞 10月5日
日本経済新聞 10月8日
読売新聞夕刊 10月22日

 一覧

毎日新聞 8月19日、26日、
9月2日、9日、16日、23日、30日
10月7日、21日、
朝日新聞夕刊 8月30日、10月11日
東京新聞 8月31日

<雑誌>	
美じょん新報 8月1日	サンデー毎日 9月12日
美術の窓 8月20日	Art Collectors' 9月25日
懸賞なび 8月22日	月刊ギャラリー 9月1日
くらしの百科 8月10日	月刊江戸楽 9月20日
芸術新潮 8月24日、10月25日	散歩の達人 9月21日
月刊美術 8月20日	
<会員誌、フリーペーパー等>	
アートの旅 7月1日	定年時代 9月5日
月刊Kacce 8月1日	ぱる新宿ニュース 9月1日
光が丘 ima' am 8月1日	東京かわら版
月刊産業新潮 8月1日	船橋よみうり新聞 9月10日
てんとう虫/express 8月15日	
<WEB>	
アートアジェンダ	ウェブ版「美術手帖」
Tokyo Live & Exhibits	日本美術倶楽部
Fasion Press	Tokyo Art Beat
Sfumart	T JAPAN web
個展なび	ぴあポイントサイト
アートの旅	ウォーカープラス
インターネットミュージアム	日本美術倶楽部
G-Call	Web 太陽
ぴあアプリ	あるくあるける MAP&NEWS
大人のカルチャーガイド	
<その他>	
	練馬区公式LINE 10月21日
FM 調布 ゆうがた5 8月2日	練馬区公式 facebook 10月20日
NHK 日曜美術館アートシーン 10月16日	練馬区多文化 facebook 10月27日
テレ朝動画 Musee du ももクロ 10月6日、 10月13日	モニター広告8月~11月 ねりま区ホームページ
BS日テレ ぶらぶら美術・博物館 10月11日	貫井図書館だより
ねりま区報 8月21日号	貫井図書館・美術パスファインダー
練馬区公式 twitter 9月8日	
<広告>	
京王電鉄駅貼り広告（新宿駅、明大前駅、吉祥寺）	
Instagram、Facebook、Twitter およびYahoo!広告 9月2日~16日	
Instagram、Facebook、Twitter およびGoogle 広告 10月7日~21日	

平子雄一×練馬区立美術館コレクション [遺産、変形、再生]

令和4年11月18日～令和5年2月12日

<p><新聞></p> <p>📄 記事</p> <p>毎日新聞夕刊 12月21日</p>		<p>📄 一覧</p> <p>朝日新聞夕刊 11月15日</p> <p>読売新聞 11月18日</p> <p>東京新聞 11月18日</p> <p>毎日新聞朝刊 12月2日</p> <p>毎日新聞 12月16日</p>	
<p><雑誌></p> <p>東京かわら版 11月号 11月28日</p> <p>月刊美術 12月20日</p>		<p>散歩の達人 1月号 12月21日</p> <p>アートコレクターズ 1月号 12月23日</p> <p>地域創造レター 1月1日</p>	
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>アートメディア Sfumart</p> <p>ウェブサイト MIRAI</p> <p>Fashion Press</p> <p>美術展ナビ</p> <p>G-call</p> <p>個展ナビ</p> <p>ギャラリーガイドネット</p> <p>メトロポリタン+</p>		<p>わくわく毎月プレゼント</p> <p>アプリマガジン「週刊じゃらん」</p> <p>Tokyo Live&Exhibits</p> <p>ウェブ版美術手帖</p> <p>美術展ナビ</p> <p>東洋経済日報</p> <p>ウェブ版美術手帖</p> <p>Padograph</p>	
<p><その他></p> <p>ロードふじみ商店街公式 YouTube チャンネル</p> <p>11月22日</p> <p>リベラルアーツ プログラム for Business</p> <p>12月20日 1月18日</p> <p>日本テレビ「THE ART HOUSE」12月26日</p> <p>TBS「LIFE with ART」2月5日 ※YouTubeでも</p> <p>アーカイブ</p>		<p>ねりま区報 11月1日号</p> <p>練馬区公式ツイッター 11月18日</p> <p>練馬区公式LINE 11月18日</p> <p>練馬区多文化 Facebook 1月19日</p> <p>練馬区役所庁舎内等モニター広告 11月～2月</p> <p>練馬区公式ホームページ</p> <p>貫井図書館だより</p>	

本と絵画の 800 年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション

令和 5 年 2 月 26 日～4 月 16 日

<p><新聞></p> <p>📄 記事 📄 一覧</p>	
<p><雑誌></p> <p>美術の窓 12 月号 芸術新潮 12 月号 月刊 Kacce 1 月号 懸賞ナビ 1 月 20 日 美術の窓 1 月 20 日 情報紙プレステン 1 月 28 日</p>	<p><会員誌・フリーペーパー等></p> <p>ねりまファミリーパック 2-3 月号 asacoco 1 月 19 日</p>
<p><WEB></p> <p>とっておきの練馬 エコレポ Sfumart アートアジェンダ G-Call Fashion Press 美術展ナビ 「MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう」 レッツエンジョイ東京 Padograph 日英協会</p>	
<p><その他></p> <p>ねりま区報 2 月 1 日号 練馬区役所庁舎内等モニター広告 2 月～ 練馬区公式ホームページ 貫井図書館だより</p>	

令和 5 年 2 月 12 日現在

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

1 来館者の安全確保体制

- ① 来館前の検温実施を要請し、来館自粛を求める条件をホームページ等で周知する。
 - ア 37.5℃以上の発熱があった場合
 - イ 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ② 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒を要請する。
- ③ 上記①・②について館内入口に掲示する。
- ④ 混雑時は館内滞在時間を1時間から1時間30分程度とすることを依頼する。
- ⑤ 貸出物(車いす、ワークショップ時の道具、アンケート用筆記具等)は消毒を行い貸し出す。
- ⑥ 観覧中に感染が疑われる体調不良者が発生した場合には、あらかじめ準備した他の来館者から隔離できるスペースでの休憩を促し、救急要請する。
- ⑦ 封筒に入れたマスクを用意し、着用していない来館者に受付・監視職員が声かけ、配付する。

2 スタッフの安全確保体制

- ① スタッフは就業前に検温する。
- ② 発熱のあるスタッフには医療機関の受診を促し、診断結果を確認する。

下記の症状に該当する場合は自宅待機とする。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐
- ③ 咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- ④ 接客対応には、マスク着用・アクリル板での遮断で飛沫感染を防ぐ。
- ⑤ 現金やチケットのやりとりにはトレーを使用する。

3 館内管理

- ① 館内
 - ア トイレ等の共有部分および不特定多数の人が触れる場所を頻繁に清掃
 - イ 入口等適切な場所に手指消毒液を設置
 - ウ 清掃スタッフのマスク、手袋着用の徹底、清掃後の手洗いの徹底
 - エ トイレに手洗いを促す掲示
 - オ ハンドドライヤーの使用中止
 - カ エレベーター内に会話を控える旨の掲示

② ロビー

- ア 対人距離を確保するため、フロアマーカ―を設置
(チケット購入の列・トイレの列・グッズ購入の列)
- イ ソファは間隔を空けて座るよう、座れない場所に表示
テーブル・椅子は間引きして配置

③ 受付カウンター

- ア アクリル板の設置
- イ チケットおよび現金受け渡しにトレーの使用

④ 展示室

- ア 監視員のマスクの着用
- イ 観覧者の入室時のチケット確認の緩和
- ウ 職員の定期的な見回りによる過密状況のチェック

4 混雑時の入場制限の実施

① 展示室…約 260 人

※ 1 m の対人距離をとれる人数 524 m^2 (展示室全体) $\div 2 \text{ m}^2 = 262$ 人

② ロビー…約 40 人

5 広報・周知

① ホームページ・館内掲示への記載により来館時の注意事項を周知する。

- ア 来館前の検温実施の要請、来館自粛を求める条件の記載
 - ・ 37.5℃以上の発熱があった場合
 - ・ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、
目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状がある場合
- イ 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒の要請の記載
- ウ 身体的距離の確保徹底の記載
- エ 滞在時間の目安を 1 時間～1 時間半とする要請の記載
- オ 展示室内での会話を控える要請の記載
- カ 作品の前で長時間立ち止まらない要請の記載

6 混雑時の対応

- ① ホームページ、Twitter で混雑状況を発信する。
- ② 入場制限を行う場合は、未利用のギャラリー等を入場待ちスペースとして使用する。
- ③ 誘導スタッフを配置する。
 - ア 入場者の整理、制限、誘導等について、専門スタッフを配置
 - イ 混雑状況により、必要であれば誘導スタッフを増員

令和5年3月22日
地域文化部美術館再整備担当課

練馬区立美術館および練馬区立貫井図書館改築等にかかる
基本設計委託事業者について

1 委託事業者

株式会社平田晃久建築設計事務所
東京都港区西麻布2-8-13 Fe 西麻布ビル
代表取締役 外木 裕子

2 業務内容

練馬区立美術館・貫井図書館の改築およびそれに伴う美術の森緑地の改修に係る基本設計業務

3 選定方法等

公募型の企画提案方式（プロポーザル方式）により募集し、選定委員会による審査を実施し、評価・選定した。

4 今後のスケジュール（予定）

～令和5年12月	基本設計
令和5年度～令和7年度	実施設計
令和7年度～令和9年度	工事
令和9年度	開設

(参考)

○平田 晃久 氏

建築家、京都大学教授

略歴

平成 17 年 平田晃久建築設計事務所設立

平成 27 年 京都大学大学院准教授就任

平成 30 年 京都大学大学院教授就任

実績

平成 29 年 太田市美術館・図書館

令和 3 年 八代市民俗伝統芸能伝承館

ほか

受賞歴

平成 20 年 第 19 回 2007JIA 新人賞 (栴屋本店)

平成 24 年 第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 金獅子賞(共同受賞)

平成 30 年 村野藤吾賞 (太田市美術館・図書館)

令和 4 年 日本建築学会賞 (太田市美術館・図書館)

ほか



※練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計候補者選定プロポーザル
提案書より抜粋